

国語 4年

『伝統工芸品の魅力を伝えよう』

①伝統工芸品について知っていることや知りたいことを書きだし、たくさんの工芸品に出会うための仕掛けをし、1時間ポプラディアや本に触れる時間をとりました。この時間の最後に、自分が一番伝えたい工芸品を選び理由も書きました。(赤い字は友達の意見から考えを取り入れたり、付け加えたりしたもの)

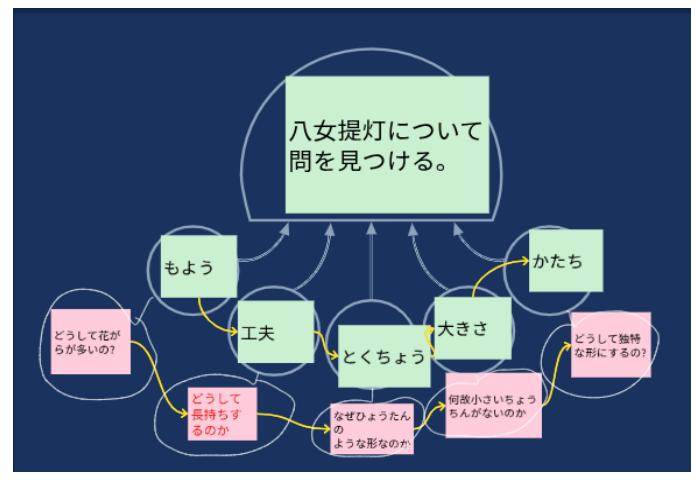
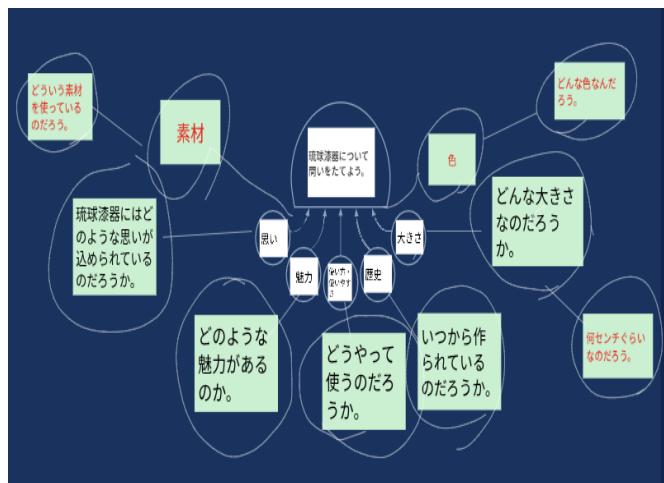
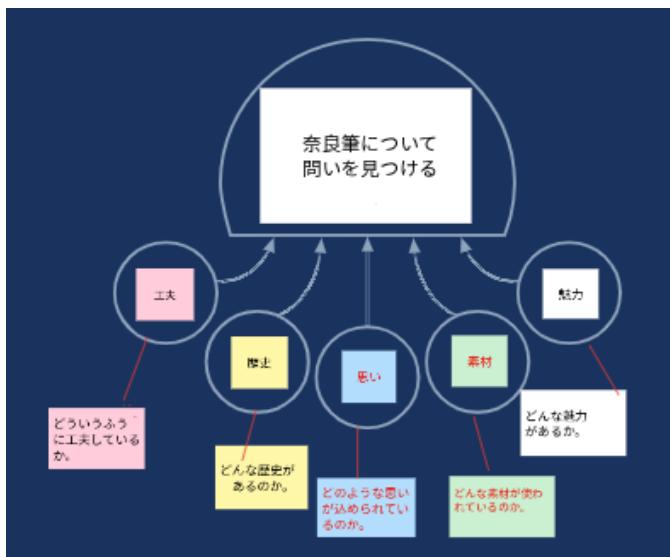
知っていること	知りたいこと	
<ul style="list-style-type: none">工芸品は職人が一つ一つ作っている。工芸品は、いろんな種類がある。工芸品は、千年以上前からある。工芸品は、全国で売られている。	<ul style="list-style-type: none">工芸品を作るときは、何人くらい人が必要なのか。工芸品の値段は高いのか。工芸品を使っている人は何人くらいいるのか。 <ul style="list-style-type: none">工芸品作るのは何日かかるのか。工芸品作っている職人はどのくらい稼ぐのか。工芸品は何種類あるのか。工芸品はいつからあるのか	

知っていること	知りたいこと	
<ul style="list-style-type: none">環境への負荷が少ないとこ。長く使ってごみをへらしている。クゴではけできていること。電気を使わずに作ること。一つ一つ丁寧に工芸品をつくること。職人さんは使う人のことを考えて作っている。	<ul style="list-style-type: none">工芸品はいつから始まつたか。外国人が作っている工芸品も日本で作っている作り方と同じなのか。本当に色々な所に売られているのか。工芸品は外国人や日本人に人気なのか。外国人は工芸品を使っているのか。一番古い工芸品はなにか。	

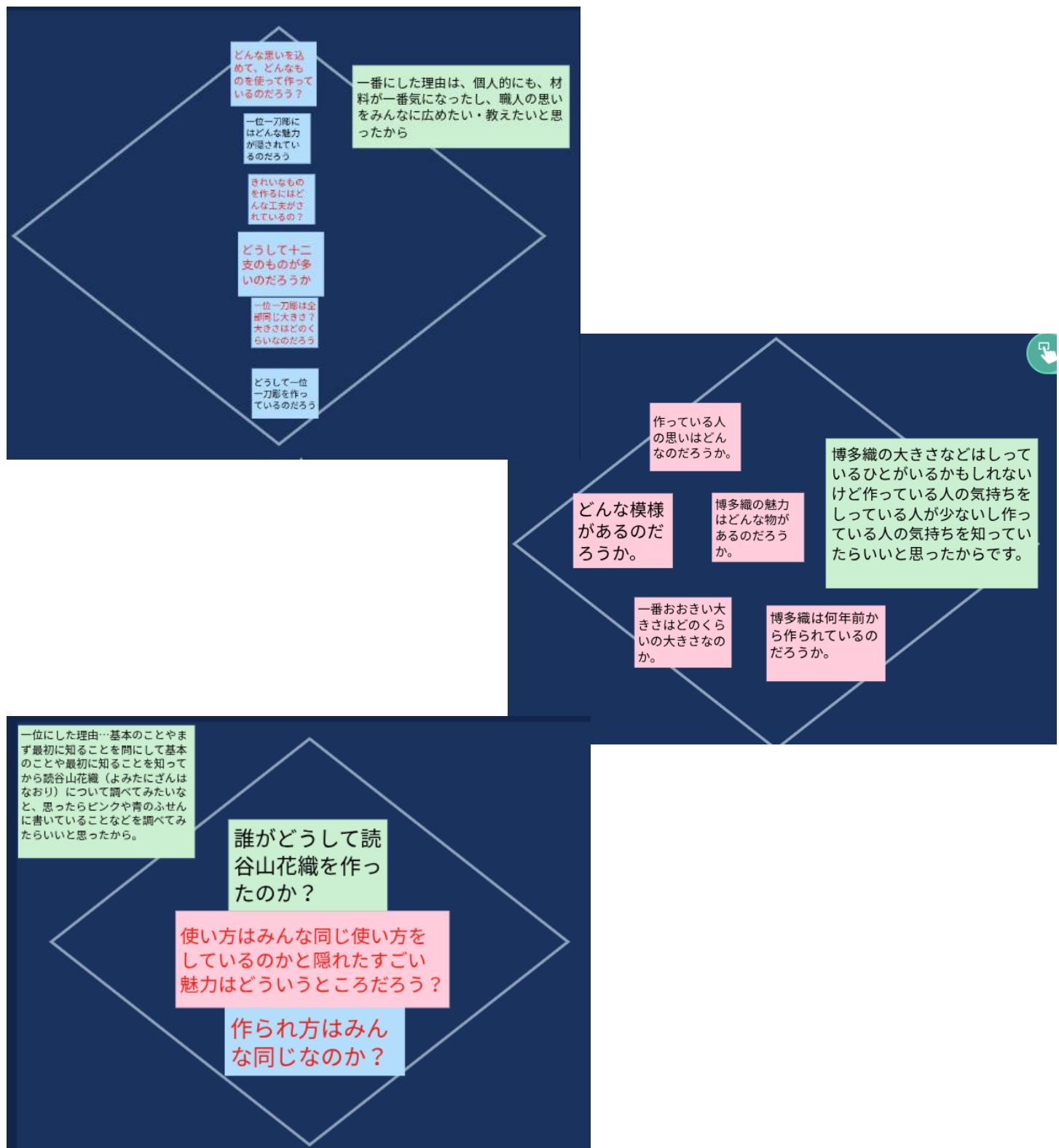
知っていること	知りたいこと	
<p>奈良墨は千年以上前から、文字や絵を描くための道具として、使われてきた。奈良墨で木や紙に書かれた墨は、今も消えずに残っている。</p> <p>職人さんは、その土地の気候や資源を活かして工芸品を作っている。</p> <p>職人さんはどんな思いをしながら作っているのだろうか？</p>	<p>外国でも日本と同じようなものがあるのか？</p> <p>工芸品を最初に作った人はだれなのか？</p> <p>なんのために職人さんは工芸品を作り続けているのだろうか？</p> <p>工芸品はどのようなお店で売られているのだろうか？</p>	<p>江戸からかみ</p> <p>江戸からかみを選んだ理由は2つある。1つ目は、名前を見たときに、名前がかっこよくて、気になったからです。2つ目は、ポプラディアで調べたときに江戸からかみのがそがのっていて、その画像を見ると、高級感があって、かっこよかからです。</p>

②伝えたい工芸品について観点を選び、問い合わせました。

自分で問い合わせた後に、友だちの問い合わせを見てもう一度自分の問い合わせを見直し深める活動をしました。
(赤い字は友達の意見から考えを取り入れたり、付け加えたりしたもの)



③次の時間の調べ学習へつなげるために、自分が考えた問い合わせダイヤモンドランクインに整理しました。



④自分が調べた情報を使って、表に整理し要点を書きました。

おわり	中	はじめ
<ul style="list-style-type: none"> • 患い • める。 • み力をまと 	<ul style="list-style-type: none"> • 工夫 • 作っている人の思い 	<ul style="list-style-type: none"> • 紹介
<p>奈良墨について</p> <p>理由は奈良墨滑らかな書き心地で魅力や工夫がいいあるからです。</p> <p>奈良墨について2つ紹介します。</p> <p>深みのある墨色と豊かな書き心地や時間とともに墨色や書き味が変化する熟成」の魅力もあります。</p>	<p>工夫は滑らかな書き心地で使いやすいところです。</p> <p>作っている人の思いは美術工芸品として価値を守りたいという誇らしい思いで作っています。</p>	<p>理由は奈良墨滑らかな書き心地で魅力や工夫がいいあるからです。</p> <p>奈良墨について2つ紹介します。</p>

終わり	中	始め
信楽焼は、良質な土を使用しているからぜひ家に飾ってみてください。	始まり↓ 愛知県の常滑焼に 影技などの技術	理由は、どうゆう形でどこで作られたのか知りたいからです。
木節粘土、実土、蛙目 材料←		信楽焼を二つ紹介します。

終わり	中	はじめ
<p>江戸版画の魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸版画は東京で作られていた ・ 色は繊細に塗られて、墨から段々他の色も使われるようになつた 	<p>色と場所</p> <p>江戸版画が作られた場所は、黒い墨で、それから墨以外の赤や青、黄色なども使う様になつた。</p> <p>・ 色 ・ 形 ・ 大きさ ・ 工夫 ・ 良さ ・ 特徴 ・ どこで作られた</p>	<p>私が紹介するのは江戸版画です。この工芸品を選んだ理由は見た目がきれいで細かいところまで描かれていたからどのようによつたか気になつたからです。そんな江戸版画の魅力について紹介します。</p>

この授業の続きは、書き出したものをより具体的に書いていきます。